

PMI SDGsスタートアップセミナー ～SDGsを学んだあとのSDGs実践に向けて～

埋もれている地域資源(人・モノ・思い)の価値を
創出する“サーキュラーエコノミー”の実践



有限会社ウイルパワー

自己紹介: **リユースマン** 江川健次郎

アメリカでは人の命を守る **消防士:ファイアーマン**がカッコいい！と子供たちのHERO。
ファイアーマンのように、「リユースすることがカッコいい！」と憧れる世の中にしたい！

- **有限会社ウイルパワー** 代表

リユースショップ「リユースマン」を岡山県倉敷市と香川県丸亀市で運営。

中古品・不要品を開発途上国へ輸出。

- **一般社団法人 ジャパン・リサイクル・アソシエーション**
(通称:JRCA) 代表理事

リユース業者の全国団体。

- **一般社団法人 家財整理相談窓口** 理事



埋もれている地域資源(人・モノ・思い)を活用:循環経済の価値を創出

◎活動目標

- ✓活用されていない地域資源(人・モノ・思い)を 役立ちに変えて、
循環ビジネス(サーキュラーエコノミー)の
存在価値を高める。
- ✓資源循環による“元気で優しいまちづくり”



埋もれている地域資源(人・モノ・思い)を活用：循環経済の価値を創出

◎活動原点

✓生産が経済の主流を占めているが、生産が動脈とすれば、循環する静脈がなければ社会はうまく回らないはず、しかし「**循環経済**」の社会的認識は低いままである。

生産経済と同等に**社会的価値を高め、自分の仕事に誇りを持つため！**

子供たちに「**お父ちゃんカッコいい！**」と思ってもらうため。



活動状況 1 リユース:資源循環を世の中に役立てる

高齢化社会(高齢化率29.1%)を背景に、高齢者の「家じまい」が増加

- ・行政ができない家じまいをサポート。
- ・大量の家財品が排出され、廃棄されている。

■海外リユース(2015年4月~)国内で市場価値のない商材を選別し、
開発途上国へ輸出。現地の生活水準の向上・雇用促進。
現地のオークション企業と連携し、安定したリユース市場の構築を図る。

独自開発した「海外リユースバン詰システム」により
輸出書類の簡略化、可視化 が可能。
⇒国際問題となっている廃棄物不正輸出の解決事例

◎廃棄を価値に変え、廃棄削減・資源循環による
循環経済を促進。



活動状況 2 リサイクル:資源循環を世の中に役立てる

■廃棄資源(空缶・古紙・古着・ペットボトル)の分別回収

地域住民の協力のもと

2014年5月～2021年7月 7年間 再資源化⇒717.1トン

○アルミ缶:25,586kg、○スチール缶:13,829kg、

○ペットボトル:5,738kg、○ダンボール:215,706kg、

○新聞:136,532kg、○雑誌:198,144kg、○古着:121,585kg

金属や古紙・古着の再資源化は地元のリサイクル企業と連携



活動状況 3 活用:資源循環を世の中に役立てる

717.1トンの資源ごみの再資源化による収益金 4,215,713円(※2021年12月現在)

収益金の30%を福祉活動に寄付。1,265,000円(※2022年1月現在)

残りを高齢者・障がい者雇用に活用し、海外リユースの作業に従事。

障がい者・高齢者の活躍の場を創出(リユース作業)

■高齢者雇用 延べ1,698人

■障がい者雇用 延べ2,217人(就労継続支援B型)

2016年4月～2021年12月

障がい者雇用は、市役所の社会福祉部や
就労センター協議会と連携



活動状況 4 その他:資源循環を世の中に役立てる

■リユース絵本の寄贈

読み終わった絵本をNPO団体を通じて子どもたちに寄贈。

2020年11月～2021年12月 781冊

■「愛のリユース制服」

近隣学校と連携、無償譲渡活動。2021年9月開始

《啓蒙活動》

■近隣の小学校社会科 職場体験学習

2011年より毎年、小学生の「職場見学」を通して、「リユース・リサイクルの大切さ」を伝えている。

(2020年～コロナ禍により社会科見学していない)

■販売商品 カーボンオフセット記載

販売商品(リユース・オフィス家具)に

「リユースによるCO2削減数値
(カーボンフットプリント)」を表記し、

CO2削減効果を体感。

2012年～



生産だけが、経済じゃない！

資源循環は“愛”だ!!

“元気で優しいまちづくり”が出来る
循環ビジネスって凄いんです！



- **2019年度 10月 PMI SDGsスタートアップセミナー初参加**

参加者：行政・学校・大手企業・中小企業

- **2020年度** ・SDGsスタートアップセミナー ベーシックコース

- **2021年度** ・SDGsスタートアップセミナー ベーシックコース

- SDGsスタートアップセミナー アドバンスコース

- デザイン思考&アジャイル実践



認定・受賞

- ・岡山県資源循環推進事業所(岡山エコ事業所) 認定 令和2年(2020年)2月
- ・環境省策定エコアクション21 認証・登録 令和2年(2020年)9月
- ・倉敷市「障がい者福祉功労」受賞 令和2年(2020年)11月
- ・環境省 第8回グッドライフアワード「環境と福祉賞」受賞 令和2年(2020年)12月
- ・香川県知事から「香川県環境配慮モデル事業所」認定 令和3年(2021年)2月
- ・丸亀市環境にやさしい事業所(エコ・リーダー丸亀) 認定 令和3年(2021年)7月
- ・「おかやまSDGsアワード2021」受賞 令和3年(2021年)12月



11/19 第3回 PMIアドバンス発表

◎リーンキャンパスの作成経過

サポーターとのミーティング

9月まで毎週1回～3回ほど
夜2・3時間ほど会合。

スゴイ人たちの頭脳を使って
作り上げるSDGs事業の
過程は単純に楽しい！
(サポート・誘導されながら進行)



リーンキャンバス・ロジックモデルの作成

PMI SDGsスタートアップセミナーの感想

- ◆学びの環境がポジティブ、なんでもOK。
- ◆参加者とのワークショップは気楽に学べるので楽しい。
- ◆特に、アドバンスコースがおすすめ！
(SDGs事業や活動を個別に支援するコース)
- ◆スゴイ人たちと一緒にプロジェクトを磨き上げれる
(リーンキャンバス・ロジックモデル作成)
- ◆**理解者・仲間・応援者ができる！**
- ◆**問題点:宿題がある。**
サポートしてもらってる立場なんで、やるしかない！



SDGsの好きなところ

◆みんな同じ目線:

学校の先生、政治家、役人、お母さん、中小企業のおっちゃん

◆世の中を良くしたい思いを表現できる

◆パラダイムシフトが出来そうな雰囲気がある

(社会の常識や価値観の劇的変化)

SDGsの嫌なところ

◆やたら英語が多い

◆SDGs連携というだけの人が多い

最後に

PMIの皆さん！

素晴らしい場づくりとサポートに感謝しています。

ありがとうございました。これからもお世話になります！

一緒に学んだ仲間たち！

これからもお世話になります。お世話します。
よろしく申し上げます。

愛しています。

